

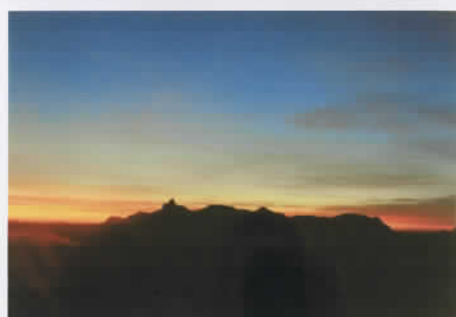
春日井写真同好会 第136回例会記録

平成22年9月14日13:00~14:30
松寿会クラブ室

参加者 6名
小林・中井・福田・
堀田・松倉・村田

夏休み明けの例会です

猛暑で苦しめられましたが、秋も間近で写真の時期がやってきます。
今回は村田さんと松倉さんから作品の披露がありました。



一目瞭然、**村田さん**の指になるものです。ふと、一般人を対象にした昔の話を思い出したのですが、山の写真に誰もどうのこうのと言えるものではないということでした。プロは別として、一般人にとっての山の写真は、綺麗・美しい・素晴らしいといった感じたままの感想で良いのではないかといい内容だったと思います。プロは自己満足できる一枚のために、数時間から時には何日も時間をかけるものだ。そんなマネは不要ということでした。

松倉さんからの披露。モデルさんを撮る羨ましい撮影会の収穫を……。



中に難しいかなと思う残念な一枚がありました。
良く見ると画像左手にカエデの一枝があり、この一枝を意識しての構図だと思いますが、ボケてはいても背景の緑が濃くて、手前のカエデの一枝を吞んでしまった状態になっています。
スポット測光で撮ったらどうだったかと。どんな感じに

なるかなとレタッチしてみました。……少し過ぎました？。



個人的ですが、惹かれる一枚がありました。やや顔を上げて顔を閉じている。そして言いようのない手のポーズ。ポーズを作る過程の一瞬と思われるが、通常、大きく見開いて瞳の美しさを強調するのが今流ですが、逆説的に惹かれるのかも知れません。

右は常套的に好まれるポーズで、顔を少し下げることによって目が大きく見開く。上の写真は少し顔を起こしていて目の開きが少ない。多くのモデルさんや女優さんの写真を見ていると、表情・ポーズの取り方に、その人の年を感じさせるものがあって、変に納得することがあります。一度、注意して見ていただけたら……。





広角レンズがなくて、ラセン階段の雰囲気
を捉えられなかったと残念だったよう
ですが、それよりも講師からこの場のシーンは
モノクロで撮るようにと指導があったと聞
き、ウン！？と思いました。

銀塩の講座なら判るがデジの講座でモノ
ラル撮影はないだろうと。カメラには確
かにモノラルの設定はあるが、パソコンがあ

るなら敢えてモノラルに設定して撮影する意味が判らない…ということです。

講師の経歴は存じ上げないが、失礼ながら現代の技術を少しは勉強して戴
きたいと思う。

右の例を

見ていただければご理解いただけ
ると思うが、デジカメで撮る限り
全てカラーで撮って欲しいと。

もし、モノで表現したいことが
あればモノクロでもセピアでも好
みに応じて変換できるので……。

戦中戦後、モノクロで世界の超
有名人ばかりを撮り続けた世界的
な有名カメラマン＝カーシュは、戦
後にコダックやアグファからカラーフィルムを使って欲しいと要請があつたが、頑として受けずモノク
ロに徹して撮り続けたといわれるが、我々凡人は手軽にカラーで撮って必要な時に好きな色に変換すれ
ば良いと思う。



次回、第137回の例会は

犬山を散策してみようということになりました。

犬山市は、いま秋の犬山キャンペーン中で、その一つに「犬山観光写真コンテスト」が開かれています
ので、挑戦してみたいかと思いますが。審査員が明治村のコンクールの人たちなら良いのですが。



並行して、「犬山 七福めぐり」が開催されていますので画材にはい
いかも知れません。

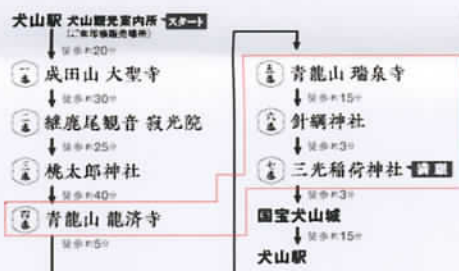
左は一昨年の写真コンクールの最優秀賞の作品ということですが、ど
このお寺か判りません。

七福めぐりの内、脚の悲鳴を気
にすると右記の④⑤⑥⑦がいか
がでしょうか。



犬山といえば山車が思い浮か
びますが、お祭りは4月ですの
で、今はどうかと思います。
「どんでん館」というのがあり

まして、ここには山車が展示されていると思います。
飛騨古川のまつり会館ほどの規模はないと思いますが。



名鉄小牧線「小牧」駅の改札前に集合。バス勝川・小牧線は本数が少ない
ので×。春日井・小牧線のバスということになりますが、会社の駐車場に車を止めて、「南町屋」から
小牧行きのバスはいいが。9時台の小牧行き南町屋発の時刻は「5」「20」「35」「52」となっています。

52分だと10：06着に。



連絡は村田へ
0568-81-8283

と き 平成22年10月12日(火) 10:00
ところ 名鉄小牧駅改札前集合